

3 | 中部医療圏

1 地区概況

亀岡の気候は内陸的特性を有しており、比較的温暖ではあるが冬期の冷え込みが強い。初秋から冬にかけては濃霧が発生しやすい。

北桑地域はやや冷涼で、6～8月にかけての雨量と冬期の降雪が多い。

船井地域は太平洋側と日本海側の気候が混在し、高冷地の要素も含んでいる。山間部では積雪も多い。

京阪神地域に隣接しており、JR山陰本線や道路等交通網の整備に伴って、近年、住宅地の開発や企業誘致が進展してきている地域もあるが、一方では、若者の流失により過疎化が進む地域がある。



2 市町村別人口動態統計

	人 口	老年人口割合 (高齢化率)	年少人口割合	1世帯当たり 人員	死亡率 (人口千対)	出生率 (人口千対)	合計特殊 出生率
京 都 府	2,629,592	14.7	14.8	2.72	7.4	9.2	1.35
医療圏計	156,104	16.4	17.5	3.27	8.0	8.9	1.51
亀 岡 市	92,398	11.8	18.8	3.28	5.8	9.6	1.49
京 北 町	7,080	25.6	16.6	3.35	11.9	7.8	1.80
美 山 町	5,478	28.3	15.4	3.15	12.5	7.0	1.85
園 部 町	16,251	18.4	15.8	3.12	9.9	9.3	1.50
八 木 町	9,905	20.7	14.9	3.50	9.8	6.9	1.28
丹 波 町	8,998	21.4	17.2	3.34	9.5	8.6	1.81
日 吉 町	6,207	24.2	15.0	3.13	10.6	6.1	1.36
瑞 穂 町	5,477	27.4	14.8	3.39	14.7	6.7	1.58
和 知 町	4,310	31.5	12.1	3.07	14.1	7.6	1.95

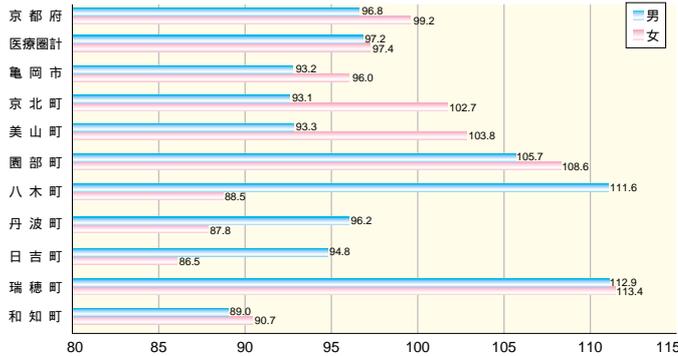
資料 人口～1世帯当たり人員:「平成7年国勢調査」

死亡率～合計特殊出生率:「平成5年～平成9年人口動態統計特殊報告」

注:老年人口割合:全人口のうち65歳以上の占める割合
 年少人口割合:全人口のうち15歳未満の占める割合
 合計特殊出生率:一人の女性が一生の間に生む平均子どもの数

3 健康指標

標準化死亡比(平成5年～平成9年)

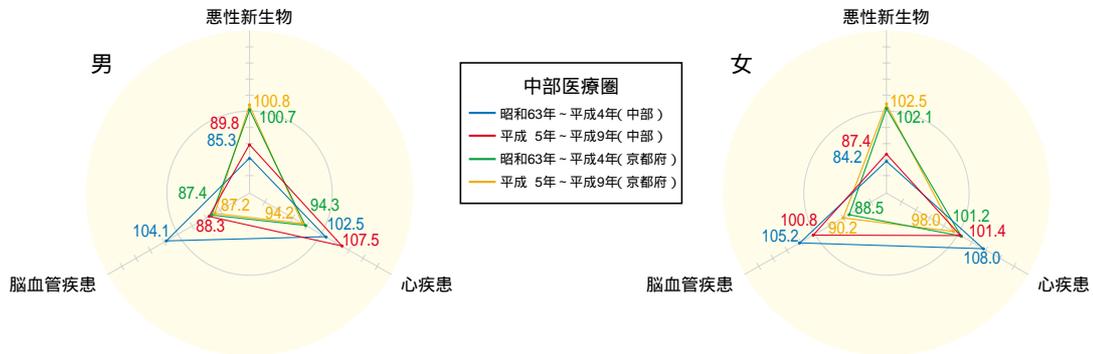


3大疾患の標準化死亡比は、京都府と比べ男性では心疾患が多く悪性心生物が少ない、女性では脳血管疾患が多く悪性新生物が少なくなっています。

また、平成5年から平成9年においては、過去5年に比べて、男性は脳血管疾患が、女性は心疾患が減少しています。

注:標準化死亡比:その地域の年齢構成の差を取り除き、基準となる人口の死亡数と比較したもの

3大疾患の標準死亡比

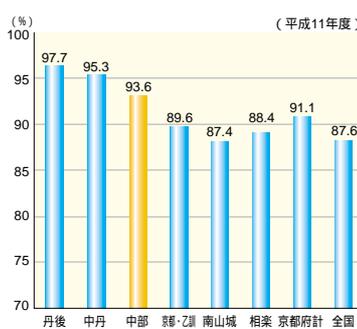


乳児死亡率
(出生千対)



資料:「平成5年～9年 人口動態統計特殊報告」

3歳児健康診査受診率



65歳以上の人口に占める要介護者の割合



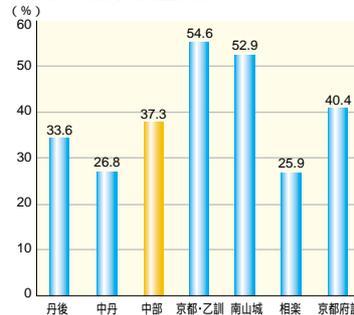
(平成12年12月末現在)

老人一人当たり医療費



資料:「平成9年度 老人医療事業年報」

基本健康診査受診率



資料:「平成11年度 老人保健事業報告」

4 現状

平成10年度 府民健康づくり・栄養調査

- ・食塩摂取量は男性14.4g、女性13.2gと府平均(男性13.7g、女性12.4g)を上回っている。
- ・女性の脂肪エネルギー比は26.5%であり、適正比率の25%を超えている。
- ・朝食の毎日喫食者は、就学前児で96.2%、小・中学生で93.0%、15～19歳で64.2%、20歳代で59.8%と、年代が高くなるにつれて欠食者の割合は増加している。
特に20歳代の男性の欠食率は30.4%と高い。
- ・1日平均歩数は、20歳代で7,320歩と府平均の8,428歩に比べて少ない。また、30歳代で運動習慣のない者の割合は、男性65.5%、女性62.7%と高い。
- ・喫煙習慣のある者は男性55.8%、女性6.1%であり、毎日吸う者では、特に30歳代の男性が69.1%、20歳代の女性が14.6%と府平均(30歳代男性63.2%、20歳代女性13.3%)より高い傾向にある。
- ・地域的に日常的な飲酒習慣があり、男性で週に5回以上飲酒している者の割合は53.2%と府平均(51.2%)より高い。
- ・1歳6か月児のむし歯保有率は、5.0%(府4.2%)、3歳児のむし歯保有率は43.3%(府40.0%)で、それぞれ府平均を上回っているが、乳幼児期のむし歯保有率は減少傾向が見られる。
(京都府の歯科保健)
- ・基本健康診査による高血圧(境界領域を含む)を指摘された者が41.6%と高い。
(老人保健事業報告)
- ・基本健康診査による糖尿病(疑いを含む)を指摘された者が増加傾向にある。(平成6年度13.5% 平成11年度20.9%)また、糖尿病を原因とする腎透析患者が増加している。
- ・女性の胃がんによる死亡が亀岡、周山保健所管内で多い。
(胃がんの標準化死亡比:亀岡保健所管内114.4、周山保健所管内131.6、園部保健所管内81.8)
(～人口動態統計特殊報告)
- ・小規模事業所における健康診断の実施率は58%、健康づくりに取り組んでいる事業所は28%、メンタルヘルスケアに取り組んでいる事業所は18%である。(亀岡保健所調査)

5 地域の実践目標

乳幼児期から健康的な食習慣を身につけさせよう

健康的な運動習慣を身につけよう

乳幼児期から歯磨き習慣を身につけ、8020(ハマル・ニマル)を目指そう

たばこの害を知り喫煙習慣を見直すとともに、禁煙への環境づくりに努めよう

飲酒について正しい知識を持とう

循環器疾患を予防しよう

糖尿病の発症を予防しよう

がんの予防と早期発見に努めよう

安心して子育てのできる地域や、リラックスできる環境をつくろう

企業・事業所における健康づくりを推進しよう

共に目指す目標（中部医療圏）

項 目	現 状	目標数値（2010年）
食塩摂取量	男性14.4g 女性13.2g （ 府民健康づくり・栄養調査）	10g未満
脂肪エネルギー比	" 25.2% " 26.5%（"）	20～25%
野菜をたっぷり使った料理を1日2食以上食べる者の割合	" 27.8% " 40.0%（"）	男女とも50%以上
朝食の毎日喫食率	" 82.9% " 89.9%（"）	" 90%以上
食品の組み合わせを考える者の割合	" 48.6% " 78.9%（"）	男性65%以上 女性90%以上
運動習慣（週1回以上）者の割合	" 33.6% " 39.9%（"）	男女とも50%以上
意識的にからだを動かすように心掛けている者の割合	" 53.9% " 65.6%（"）	" 70%以上
成人の喫煙率	" 55.8% " 6.1%（"）	現状以下
3歳児のむし歯保有児の割合	39.1%（ 京都府の歯科保健）	20%未満
適正飲酒量について知っている者の割合	-	100%
基本健康診査受診率	37.3%（ 老人保健事業報告）	51.2% （2004年度の目標）
脳血管疾患死亡率(人口10万対)	男性103.1 女性133.8 （ ～ 人口動態統計特殊報告）	85
心疾患死亡率(人口10万対)	" 149.3 " 146.2 （ " "）	142
糖尿病予防健康教育を受ける機会	-	全市町村で実施
肥満者の割合	男性24.0% 女性19.0% （ 府民健康づくり・栄養調査）	男性15%以下 女性10%以下
胃がん検診の受診率	14.7%（ 老人保健事業報告）	5割以上の増加
胃がんによる死亡率(人口10万対)	男性50.2 女性31.7 （ ～ 人口動態統計）	増加率を半減

2004年度の目標：第2次京都府高齢者保健福祉計画による目標値



4 | 京都・乙訓医療圏(京都市を除く)

1 地区概況

気候は比較的温和で、年間雨量、降雪ともに少ない。

交通は、東部に基幹的交通施設が集中し、東西1.2kmの間に東海道本線、東海道新幹線、阪急電車、名神高速自動車道路、国道171号が通っている。

人口密度は高く、人口構成は比較的若年層が多く、核家族化が進んでいる。



2 市町村別人口動態統計

	人 口	老年人口割合 (高齢化率)	年少人口割合	1世帯当たり 人員	死亡率 (人口千対)	出生率 (人口千対)	合計特殊 出生率
京 都 府	2,629,592	14.7	14.8	2.72	7.4	9.2	1.35
医療圏計	147,866	10.9	15.3	2.85	5.2	10.0	1.36
向日市	53,290	10.9	15.4	2.88	5.4	10.8	1.42
長岡京市	78,697	10.8	15.2	2.81	5.1	9.8	1.33
大山崎町	15,879	11.7	15.2	2.91	5.4	8.9	1.29

京都市を除く

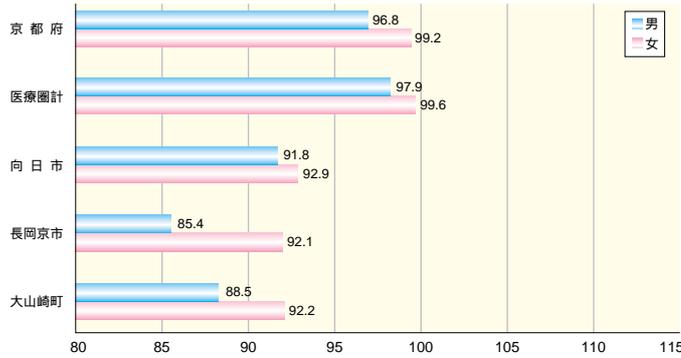
資料 人口～1世帯当たり人員:「平成7年国勢調査」

死亡率～合計特殊出生率:「平成5年～平成9年人口動態統計特殊報告」

注:老年人口割合:全人口のうち65歳以上の占める割合
 年少人口割合:全人口のうち15歳未満の占める割合
 合計特殊出生率:一人の女性が一生の間に生む平均子どもの数

3 健康指標

標準化死亡率(平成5年～平成9年)

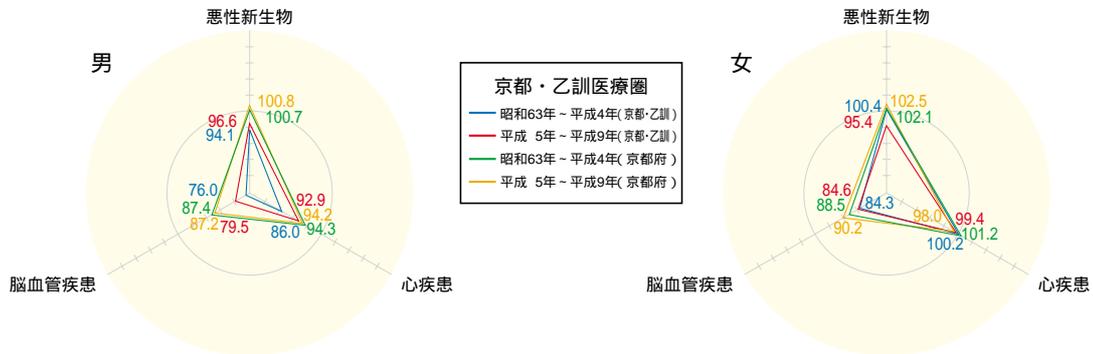


3大疾患の標準化死亡率は、京都府と比べ男女ともに脳血管疾患、悪性新生物が少なくなっています。

また、平成5年から平成9年においては、過去5年に比べて男性は心疾患が増加し、女性は悪性新生物が減少しています。

注:標準化死亡率:その地域の年齢構成の差を取り除き、基準となる人口の死亡数と比較したものの

3大疾患の標準死亡率

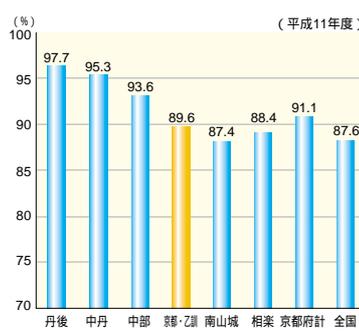


乳児死亡率
(出生千対)

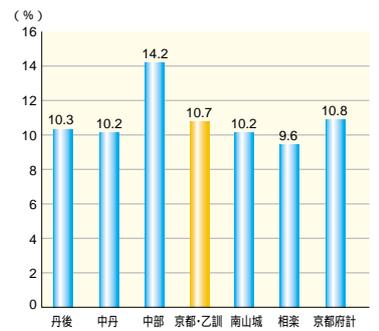


資料:「平成5年～9年 人口動態統計特殊報告」

3歳児健康診査受診率



65歳以上の人口に占める要介護者の割合



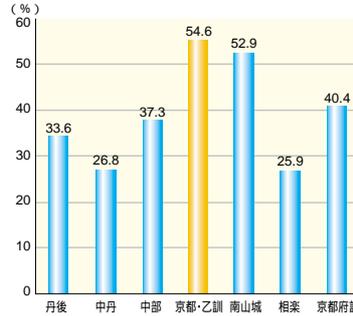
(平成12年12月末現在)

老人一人当たり医療費



資料:「平成9年度 老人医療事業年報」

基本健康診査受診率



資料:「平成11年度 老人保健事業報告」

4 現状

平成10年度 府民健康づくり・栄養調査

- ・朝食を毎日食べる者の割合は、男性77.3%(府91.2%)、女性83.6%(府92.7%)で、特に20歳代での朝食を毎日食べる者の割合が低く、外食している者の割合も高いなど、20歳代を中心に食生活習慣に乱れがみられる。
- ・外食を週1回以上利用している者は、男性43.9%(府30.3%)、女性30.6%(府17.1%)と高い傾向にあり、レトルト食品(週1回以上)は18.1%、冷凍食品の摂取頻度(週1回以上)は30.4%である。
- ・20歳代の喫煙者の割合は男性48.1%(府61.6%)、女性23.1%(府18.1%)で、特に女性の喫煙率が府平均より高い。
- ・基本健康診査による糖尿病(疑いを含む)を指摘された者の割合は、平成6年度8.6%、平成11年度が12.4%と増加傾向にある。
(老人保健事業報告)
- ・自分の体型については、肥満度が「正常範囲」の生徒の63%が「太り気味」あるいは「太っている」と感じており、86.2%が「やせたい」「少しやせたい」と希望している。また、「やせすぎ」の66.7%は「今のままの体型」を望んでいるなど、中学生女子に「やせ願望」がみられる。
(思春期骨粗しょう症予防教育事業(保健所)アンケート調査)
- ・肥満者の割合は、小学生では学齢が進むとともに高くなり、4.2%(全国2.7%)、中学生では2.0%(全国1.8%)にみられ、小、中学生の肥満が全国平均と比較して高い。
- ・2時間以上外遊びをしている3歳児の割合が11ポイント減少(S58年/H7年比)しているなど、自発性を育てる遊びが十分でない状況にある。
(S58年/H7年3歳児健診)

5 地域の実践目標

基本的な日常生活を確立するため、乳幼児期から正しい食習慣を身につけさせよう
生活習慣病予防のため、青年期から食生活・運動習慣を見直そう
喫煙者を減らそう
健康診査を定期的に受けて、自分のからだの健康チェックをしよう
正しい食習慣を実行し、適正体重の維持に努めよう

共に目指す目標（京都・乙訓医療圏）

項 目	現 状	目標数値（2010年）
朝食の毎日喫食率 20歳代	男性55.6% 女性66.7% （ 府民健康づくり・栄養調査）	男性75%以上 女性80%以上
運動習慣（週に1回以上） 者の割合	“ 41.1% “ 42.0%（ “ ）	男女とも50%以上
20歳代	“ 22.2% “ 17.9%（ “ ）	
30 “	“ 26.3% “ 38.9%（ “ ）	
成人の喫煙率	“ 54.0% “ 11.5%（ “ ）	現状以下
20歳代	“ 48.1% “ 23.1%（ “ ）	現状以下
健診において高脂血症を指摘 された者の割合	27.2%（ 老人保健事業報告）	20%以下
乳幼児期：時間を決めておやつを 食べる者の割合	男児66.7% 女児83.3% （ 府民健康づくり・栄養調査）	100%
少年期：適正体重者の割合	-	今後設定

